

江戸の娯楽といえば歌舞伎 人びとはどんな気分で足を運んだのか、舞台や客席はどうだったのか、人気の役者は……
江戸歌舞伎の雰囲気をおもしろく伝えるビジュアル事典

図説 江戸歌舞伎事典

1 芝居の世界 12月新刊
ISBN978-4-8295-0750-6

2 役者の世界 1月新刊
ISBN978-4-8295-0751-3

A5判 220頁 本体 2500円

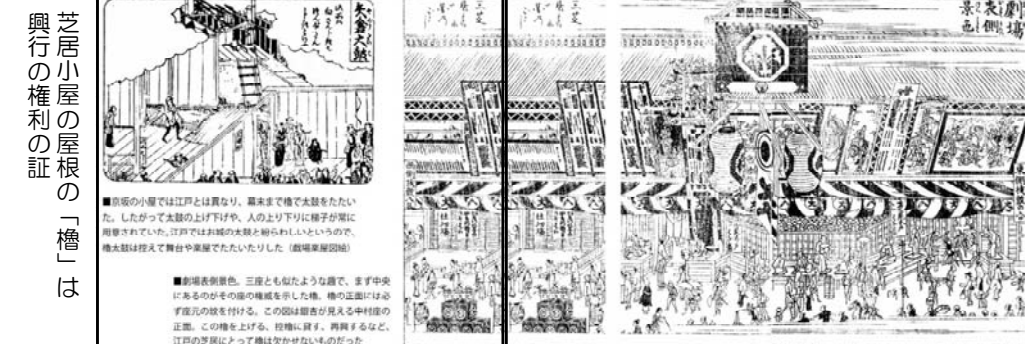
A5判 220頁 本体 2500円

飯田泰子 著
(企画集団エド代表)

- 2 役者の世界
- 一 役者の世界 華やかな人達
 - 二 肢体・衣服 姿で役柄を見せる
 - 三 芝居の道具 いくつ付き小道具
 - 四 芝居を彩る動植物

式亭三馬の『戯場訓蒙図彙』をはじめ、「客者評判記」「戯場楽屋図会」「花江都歌舞伎年代記」「守貞謾稿」などの版本から図版1000点以上

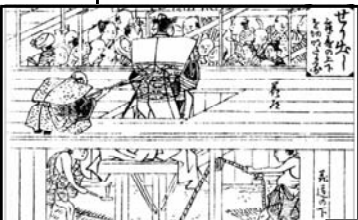
「仮名手本忠臣蔵」の名題看板



芝居小屋の屋根の「櫓」は興行の権利の証

■自前の小屋では江戸とは異なり、幕末まで棟が木製をたいた。したがって木製の上げ下げや、人のより下りに椅子が滑りに滑り落ちた。江戸ではお城の大木と絡み合っているというので、棟木製は控えて舞台中屋敷でたいたりした。(戯場楽屋図会)

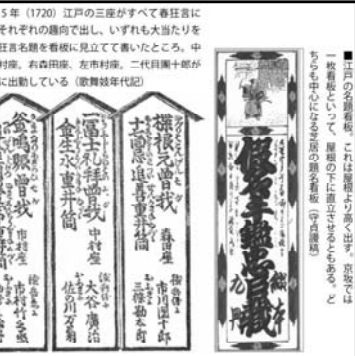
■劇中表裏の色、三座とも似たような色で、まず中央にあるのがその色の縁を引いた後、櫓の正面には必ず赤の縁を付ける。この図は赤が見える中村座の正面。この櫓を上げる、控に降り、再降するなど、江戸の芝居にとって櫓は欠かせないものだった



櫓
櫓は一つの格式で、櫓を上げる、櫓を降すというようにして興行の権利の証で、太鼓打つたために許されたもの。その座の位置として許されたもので、諸君前が芝居の中心になる。夢の中で芝居の山の上から観る山所敷に相当する。せて口く、家に舞い込んだので、これは夢を見たというので、櫓の正面にはお城の角切角に相当する。お城の角切角に相当する。お城の角切角に相当する。お城の角切角に相当する。

■花道のせり出し、花道の下は欄干(ろくろ)を使って数人の人達が手をせり上げていた。わらんせり出た役者も、欄干にその形を見てもらうために力んで大変だが、櫓の力持とは、まさしくこうした舞台を盛り上げる人達のことだろう

■せりの出心
舞台に上がった次から役者が、客席から登場する。役者が、客席から登場する。役者が、客席から登場する。役者が、客席から登場する。



■江戸の芝居看板、これは様子がよく出て、看板では一枚看板という、原形の下に直して、お城の角切角に相当する。お城の角切角に相当する。お城の角切角に相当する。

花道のせり出しの仕組み



- 1 芝居の世界
- 一 芝居の天文 江戸芝居の根元
 - 二 戯場 江戸三座の起源と見物場所
 - 三 楽屋の周辺 作者の構想を実現する人びと
 - 四 芝居の道具 芝居の大道具は不思議満載
 - 五 芝居を彩る動植物 狂言国の植物や動物
 - 終 結びに 芝居の締めは神仏登場

新刊搬入は ①は12月中旬 ②は1月中旬 です
配本部数申込締切は 12月4日(火) までに FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版
〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	各巻本体 2,500円	注文数	注文者
図説 江戸歌舞伎事典	①芝居の世界	部	
図説 江戸歌舞伎事典	②役者の世界	部	